事例No.	2193
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県各務原市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	地域資源活用

事例内容・タイトル

「地元の「特産ニンジン」と「学生アイデア」でつくる新たな「菓子ブランド」確立のための戦略事業

出典

地域力創造推進に関する研究会（第3回）

ローカル10,000プロジェクト 岐阜県各務原市

平成28年度採択

「地元の「特産ニンジン」と「学生アイデア」でつくる新たな「菓子ブランド」確立のための戦略事業」

【事業背景】

○現状の人口に対し、将来の人口は減っていく推計が出ている。

○ニンジンは、市の野菜生産販売額の７割を占める特産物でありながら、生産農家が年々減少している。

○出荷の出来ない傷物品や不形成な規格品外などは大量廃棄されており、対処する必要がある。

【事業実施者】 アダチ製菓株式会社（採択当時：足立産業株式会社）

【自治体・金融機関の支援内容】

○国費（地域経済循環創造事業交付金）：25,000千円

○十六銀行による融資：25,000千円

【取組内容】

○販売店舗を整備設置し、各務原ニンジンを使った、地元大学生と共同で開発するコラボ商品を販売する拠点とする。

○岐阜大学と「共同研究契約」を締結。和菓子スイーツ開発のほか、店舗内装や商品のレイアウト、ロゴ作成やSNSを利用したプロモーションなど事業展開に大学生の意見を活用。

○食品安全管理に関する規格や認証の仕組みを構築するため、県HACCP導入施設としての認定を取得。



各務原ニンジン



各務原ニンジンを使用した大福



店舗外観

【地域への貢献】

○“和菓子スイーツ”という新たな地域名産品の創出

○ニンジン特産地としての認知度の向上

○事業に大学生を巻き込む仕掛けができ、地域への愛着やプライドが育まれ、地域への定着が促進される。